

## 国土の長期展望について

### 国土の長期展望(平成22年度)

#### 国土の現況

「人口減少の進行」、「急速な少子高齢化」、「地球温暖化による気候変動」という変化を踏まえた対応が強く求められている。

人口減少、高齢化等  
が将来の国土へ及ぼす  
影響について検討

人口、社会、経済、国土基盤、環境、エネルギー、産業等の分野において、国土をめぐる様々な観点から、その影響がどう見込まれるかを長期展望する意義は極めて大きい。

#### 将来の国土に関する 課題の整理・検討

まずは、現状のまま推移した場合について、2050年までの「国土の姿」(我が国の自然、経済、社会、文化等諸事象の空間的な状況)を定量的・可視的に分かりやすく描き出し、その結果を踏まえ、将来の国土に関する課題の整理・検討をする。(現状推移型の推計と課題の提示)

⇒国土審議会政策部会の下に設置された「長期展望委員会」(平成22年9月設置。委員長:大西隆 東京大学院工学系研究科教授)において議論。本年2月21日に委員会、同月22日に政策部会を開催し、「中間とりまとめ」を行う予定。

### 今後

### 国土の長期ビジョンに向けた検討

#### 「国土の姿」について の複数のシナリオ と課題を整理

- 示された課題にどう対応していくかについては、前提とした現状推移型のフレームそのものが変わる(例えば出生率の回復、健康寿命の視点など)ことも含め、複数のシナリオを想定する。
- それぞれのシナリオのもとで「国土の姿」がどう変化し、対応すべき課題がどう変質していくのかを分析し、長期ビジョンに向けた検討を行う。